学習院大学新聞
発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区目白1丁目5番1号
電話(3986)0221内線2607
http://www-cc.gakushuin.ac.jp/press/
press@gakushuin.ac.jp
発行・編集人　大谷　聡
年間500円

八年ぶりの志願者数大幅減

平成十三年度入試　本学も対策に着手

平成十三年度の本学入試結果が発表された。経済不況が続く中、全国的には受験者数増加となったものの、本学の総志願者数は昨年から二、五一三名減の一万五、一四八名となった。一〇〇名以上の減少がみられたのは、平成五年度以来八年ぶりのことである。

本年度の入学志願者数の減少は昨年度の九％減の二、五一、一四八名と大きく落ち込む結果となった。近年、大学進学者数全体が減少傾向にあるなか、学費の安い入学、かつ有名校を目的とする傾向が高まった。

第三に、入試方法の一環として、センター試験を受験する私大が増えてきたことがある。現在導入予定のない本学は、この点少々立ち遅れていると言える。

そして今年、特に経済学部志願者の著しい減少が目立った。これには二つの理由がある。一つは経済学部の受験科目が、中央大学経済学部がバッティングしてしまったことが挙げられる。中央大学ではセンター入試との併願について、センター利用入試受験料を無料化し、志願者数を二千人程度伸ばす結果となった。これで本学志願者が中央大学にかなり流れたと思われる。前者は、勉学に意欲があるものの学費の支弁が困難な者を対象に、授業料・推薦費相当額を貸与する制度。貸与人数の枠を設けず、かつ、卒業後に無利子で長期返済できる画期的な奨学金である。後者は、各学部の一般入試上位給付奨学金である。一般入試上位給付は、今年から従来のオープンキャンパスの他にキャンパスツアーが開始される。そして更に、本年度から実現した五大学単位互換制度のPR活動を推進したり、ホームページの充実も図っていく予定だという。

平成13年度学習院大学入試結果

学部	学科	定員	志願者	合格者	倍率	入学者
法	法	268	2,911（+78）	610（−4）	4.8（+0.2）	317（+20）
	政治	260	1,555（−229）	496（+25）	3.1（−0.7）	285（+7）
	小計	528	4,466（−151）	1,106（+21）	4.0（−0.2）	602（+27）
経済	経済	280	1,971（−580）	599（−30）	3.3（−0.8）	286（+7）
	経営	280	1,884（−348）	466（−47）	4.0（−0.3）	296（+12）
	小計	560	3,855（−928）	1,065（−77）	3.6（−0.6）	582（+19）
文	哲	91	707（+47）	212（−47）	3.3（+0.8）	127（+23）
	史	88	896（−84）	238（+11）	3.8（−0.6）	112（+19）
	日文	116	819（−33）	260（−24）	3.2（+0.2）	141（+13）
	英米文	124	974（−134）	272（−36）	3.6（0.0）	136（−6）
	独文	56	320（−36）	127（−1）	2.5（−0.3）	61（0）
	仏文	92	545（+77）	245（+26）	2.2（+0.1）	100（−8）
	心理	78	1,190（−182）	132（+5）	9.0（−1.8）	97（+14）
	小計	645	5,451（−345）	1,486（−66）	3.7（−0.1）	774（+55）
理	物理	48	403（−99）	126（−11）	3.2（−0.5）	60（+9）
	化	48	485（−20）	138（−25）	3.5（+0.4）	62（−3）
	数	66	488（+20）	121（−58）	4.0（+1.4）	77（−1）
	小計	162	1,376（−99）	385（−94）	3.6（+0.5）	199（+5）
合計		1,895	15,148（−1523）	4,042（−216）	3.7（−0.2）	2,157（+106）

（　）内は昨年度との比較。入学者には、学習院高等科・女子高等科からの進学者、補欠・推薦入学者及び海外帰国・社会人・外国人等特別選抜入学者も含まれている。

平成十二年度の就職状況　サービス業で躍進

就職部より平成十二年度の就職状況が発表された。四月十六日現在の内定率は、男子九・九％、女子九・九％、男女合計九・三％で、昨年の九四・四％に続いて九〇％を超えた。

さらに業種別では、例年と同様に情報関連を含む「その他のサービス業の内定者が最も多く、次いで金融・行政・官庁」「卸売」の順であった。これまで採用を手控えていた中央大学ではキャンペーンなど、必要な人材の確保に動き出した結果と思われる。

さらに業種別では、例年と同様に情報関連を含む「その他のサービス業の内定者が最も多く、次いで金融・行政・官庁」「卸売」の順であった。これまで採用を手控えていた中央大学ではキャンペーンなど、必要な人材の確保に動き出した結果と思われる。

<男子>

一位	警視庁（7名）
二位	みずほフィナンシャルグループ 日立製作所 インテック（各5名）
五位	安田生命保険 日本通運 雇用・能力開発機構 データ通信システム（各4名）

<女子>

一位	みずほフィナンシャルグループ（23名）
二位	東京三菱銀行 学習院（各13名）
四位	安田生命保険 東京海上火災保険（各11名）

求人数は一時期落ち込んでいたが、近年増加傾向にあり、企業によっては奏功だけでなく通年にわたる採用を行うところもある。これは確かに、学生に幅広い選択肢を与えるとともに、しかし、四年前の就職協定の廃止もあり、就職活動の早期化、長期化は未だ続いている。学生は今後も学業などとの両立をしながら活動に臨むことになりそうだ。

「他の大学に比べて本学の高い内定率は、本学学生が企業から良い評価を得ていることを示している。それは本学業生によるさまざまな就職支援活動が大きく寄与しているからだ。企業が求めているのは、将来企業の中心で活躍するような人材。皆さんも自分が希望する職種に就職できるよう自分を磨いてほしい。就職部長は全学生に向けてこのように述べた。

なお、内定数男女別の上位企業は表の通り。

平成十二年度入学試験　学部・学科別の動向

学部・学科	内容
法学部	法学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。政治学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。
経済学部	経済学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。経営学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。
文学部	哲学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。史学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。日本文学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。英米文学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。独文学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。仏文学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。心理学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。
理学部	物理学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。化学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。数学科は、一、二、三、四年生の学生数が、ほぼ均等であり、安定している。

新教室棟工事　本格化へ向け準備整う

新教室棟完成に向け、現在工事が着々と進んでいる。西一号館全館、西二号館の一部はすでに取り壊された。

西一号館の一部も取り壊された

春休み中には、西二号館の一部取り壊されたあと、西一号館の更衣室を旧学生集会所に移設する工事が行われた。四月から利用が開始された。旧学生集会所は、新教室棟利用開始までの間更衣室として利用される。

なお、新教室棟完成後、旧学生集会所は取り壊され、跡地は緑化される予定である。

◇　◇　◇

新教室棟

西二号館と西二号館の一部を解体した跡地に建設中。少人数教育の促進を目指す。

内部には小教室を始め多くの教室が設けられる。また模擬法廷がつくられるが、これは本学初の試みである。さらにトレーニングルーム、学生部の活動のサポートがより充実することになる。完成は平成十四年一月末の予定。

学習院研究最前線　学問研究のいま

「新たな室町時代像づくり」

文学部史学科　家永遵嗣助教授

今回は史学科の家永遵嗣先生です。日本中世史の中でも、「室町時代史」という、室町時代に対する研究を通じて、先生などのような発見をされているのでしょうか。

（取材・構成　三瀬　健）

◇　◇　◇

中世と近代の断絶はなかった

古代から近代に至る日本の歴史の大きな特徴は、やはり江戸から明治に移り変わる「明治維新」の時期である。この時、欧米の文化や生活習慣が日本時代であるという、「室町時代史」。それに流入する。今までは、中世までに培われた、日本独自の社会秩序に対する考え方は失われ、欧米のルール、つまり「近代の考え方」が定着したと考えられていた。しかし近年、この考え方が覆されつつある。

「実は、日本中世、特に室町時代からの考え方とヨーロッパのルールには、たくさんの共通要素があったのです」

ヨーロッパとの共通要素

「共通要素」とは一体何なのか。先生はめのうに指摘する。

「根底となる時代背景が大変似ているのです。戦乱の世の中で、武士や騎士という身分が、農民などを下の身分から武力を用いて税金を巻き上げる。武士や騎士同士も実力をぶつけあう、という対立の時代だったのです」

その戦乱の世を、ヨーロッパは裁判によって争いを解決する、近代法の形成で克服する。では、日本はどのように克服していったのだろうか。

日本の場合にも、「御成敗式目」などの制定を通じて、実力ではなく裁判によって争いを解決する考え方が生まれている。

日本の場合にも、「御成敗式目」などの制定を通じて、実力ではなく裁判によって争いを解決する考え方が生まれている。

「法の支配」が失われたと考えるのが、これまでの一般的な見方だった。

「実は、逆に見ると、争いを武力で解決するのではなく、幕府に訴えることで解決する、というやり方が鎌倉幕府よりさらに発達したんだと考えることもできるのです」

大名たちが将軍の判決を無条件に実行している、という制度は不確実である。しかし、人々の裁判に対する期待に応える、という面から見ると、この中世集権的な仕組みもあながち捨てたものではない、という。

その後、室町幕府が崩壊し戦国の騒乱に移ったのは、力をつけてきたムラ（惣村）に対応する新しい仕組みが必要であったからではないか、と先生は考えているのだ。

「あまり研究が進んでいない分野だけに、新しい考え方で色々な試みをすることができるのです」

「伝える」立場へ

現在、先生は静岡県沼津市と韮山市の史跡整備委員として、北条早雲の史跡の保護などに関する活動にも関わっている。大切なのは、史跡を残すことの重要性をいかにして一般の人たちに伝えるのか、ということだ。これが、歴史のプロとしての責任だと先生は説く。

「これまでの北条早雲像が変わりつつあるのです。しかし、今までのイメージを壊すことに対する発ショックが大きい。新しい事実を発見することは、それをどのように説明したらいいのか、ということ、対立してしまうこともある。そこが難しいところなんですよね」

「社会に学問の結果を返す」をモットーに、先生はこれからも新しい歴史の発見に力を注いでいく。

全ては実地調査から生まれる

プロフィル

家永遵嗣（いえながじゅんじ）

一九八二年　東京大学文学部国史学科卒業。民間企業を経て三年東京大学大学院人文科学研究科国史学専攻博士課程単位取得退学。九九年学習院大学文学部国史学科助教授。専門は日本中世史、特に室町時代史。

新しい「考え方」の発見

「豊臣秀吉の刀狩りも、一見すると武士の都合によるものに見えますが、実は、豊臣同士の武器を用いた争いを停止する狙いが含まれていた」と考えられるようになっているのです」

なぜ、室町時代、なのか

その流れの中で、室町時代は、鎌倉幕府の執権政治と戦国時代にはさまれ、「中途半端な」時代であり、今まで解決する、というやり方が鎌倉幕府よりさらに発達したんだと考えることもできるのです。

「実は、室町時代の刑罰を無条件に実行する、という制度は不確実である、という面から見ると、この中世集権的な仕組みもあながち捨てたものではない、という。

その後、室町幕府が崩壊し戦国の騒乱に移ったのは、力をつけてきたムラ（惣村）に対応する新しい仕組みが必要であったからではないか、と先生は考えているのだ。

「あまり研究が進んでいない分野だけに、新しい考え方で色々な試みをすることができるのです」

「伝える」立場へ

現在、先生は静岡県沼津市と韮山市の史跡整備委員として、北条早雲の史跡の保護などに関する活動にも関わっている。大切なのは、史跡を残すことの重要性をいかにして一般の人たちに伝えるのか、ということだ。これが、歴史のプロとしての責任だと先生は説く。

「これまでの北条早雲像が変わりつつあるのです。しかし、今までのイメージを壊すことに対する発ショックが大きい。新しい事実を発見することは、それをどのようにいかに説明したらいいのか、ということ、対立してしまうこともある。そこが難しいところなんですよね」

「社会に学問の結果を返す」をモットーに、先生はこれからも新しい歴史の発見に力を注いでいく。

プロフィル

家永遵嗣（いえながじゅんじ）

一九八二年　東京大学文学部国史学科卒業。民間企業を経て三年東京大学大学院人文科学研究科国史学専攻博士課程単位取得退学。九九年学習院大学文学部国史学科助教授。専門は日本中世史、特に室町時代史。

情報特急便

春の人事

人役職／

学部長▼法学部・野坂泰司、経済学部・森田憲司、文学部・永田良昭、理学部・小谷正博

主任▼英米学科・長谷部郁子、政治学科・坂本多加雄、経済学科・岩根久男、経営学科・田中伸英、日本語・吉田敦彦、フランス文学科・岩崎裕、心理学科・相馬敬明、教務課程・田中章夫（再任）、物理学科・荒川一郎、化学科・時田邦夫（再任）、数学科・中島匠一、経営学科・奥村洋彦、経済学研究科・内野崇、人文科学研究科・小谷正博、自然科学研究科・小谷正博

（二面へ続く）

お詫びと訂正

前号（第一六三号）の「春日典さんのインタビュー」記事において、春日さんの所属サークルは、正しくは「GBC（故研究会）」でした。春日さんはじめ関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

居酒屋
海賊
営業時間
17：00〜24：00
TEL
03−3954−4229
目白駅　学習院大学　さくら通り　海賊
このお店、ぜひ！
えっ、そんなに安くていいの？
ぜひ！
ぜひ！
ぜひ！

紙面紹介

2 「インカレ教授」ここにあり

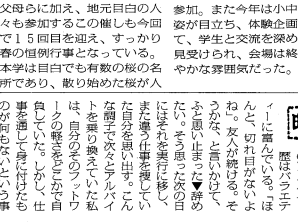
3 持ってる資格　欲しい資格

4 好成績が続出

新学期早々、続々と朗報が届いた。スカッシュ部は女子が全国選優勝、ソフト部女子は全国の一部昇格を成し遂げた。

目白の春　広がる交流の輪

～オール学習院の集い～



小中学生を体験乗馬に誘う本学馬術部の「馬」

4月15日に開催された「オール学習院の集い」。日曜日のキャンパスは、この行事に集まった多くの人でにぎわった。在学生、卒業生、教職員、父母らに加え、地元目白の人々も参加するこの催しも今回で15回目を迎え、すっかり春の恒例行事となっている。本学は目白でも有数の桜の名所であり、散り始めた桜が人々の目を楽しませていた。

各部・サークルも、来訪者を交えての親善試合を行なったり、日頃の活動の成果を発表するなど、さまざまな形で参加。また今年は小中学生の姿が目立ち、体験企画を通して、学生と交流を深める姿も見受けられ、会場は終始なごやかな雰囲気だった。

次号（一六五号）の発行予定日は六月八日㈮です。

明窓浄机

「バイト、よく変えるね」。ある日、友人に言われた。確かに私のアルバイト歴は数年間に渡る。ほぼ、同じ仕事を続けている。

ただ、違う仕事を捜していた自分を思い出す。こんな調子で次々とアルバイトを渡り歩いていた私は、自分の手のフットワークの軽さをどこかで自負していた。しかし、仕事を通して身に付けたものが何もないという事実。数々のアルバイトを次々と辞めてきた結果がこれだった。「好きな仕事のみ」という、仕事がつまらない人間関係が上手くいかない、といったなんの。今思えば、そういった不ガティブな状況に正面から向き合い、変えていこうとしたことは一度もなかったなあ、と思う。何の努力もせずに、いつも切り捨てることで逃げてきた。自分の態度を見直してみる、違う角度から物事を捉えてみる、などの改善策を試みていたなら、今とは異なる私がいたかもしれない。この時代に、ひとつのものにじっくり付き合っていくことは忍耐を要する。自分の思い通りにならず、投げ出したくなる時もあるだろう。かしいだからこそ、諦めずに成長とし多大な信頼を得ることができる。それに、時間を分けて初めて気付く面白さ感動がある。それを知ったら、つまらない、うまくいかない、とぼやいていた日々も嘘は出すかもしれない。（紀）

移り変る季節料理
割烹
海乃家
全室お座敷で落ち着いたふんいき
大小コンパ承ります。
全室［個室宴会場　カラオケ無料］
ご予算2,000円より（飲付）
高田馬場改札出口正面
☎本店 3209-7611（PM4〜11）
支店 3208-9715

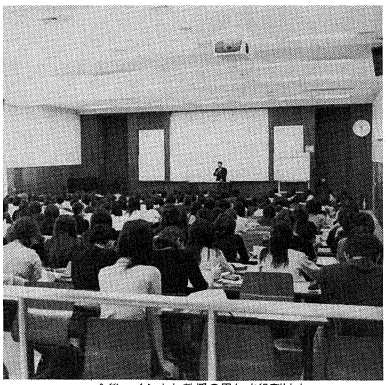
HR BOOKS HORINDO
芳林堂書店
神保町本店　03-3984-1101
ブックタウン神保町店　03-3984-0014
神保町駅前店　03-3208-0241
大宮店　048-645-5555
大宮駅前店　048-642-9255
池袋本店　03-3986-5365
池袋駅前店　03-3474-4946
池袋東口店　03-3982-2561
池袋東口駅前店　03-3971-4728
荻窪店　03-3393-4131
荻窪駅前店　03-3254-1113
東所沢店　04-2925-5555
所沢駅前店　04-2925-5355
武蔵浦和店　048-834-1111
武蔵浦和駅前店　048-831-0065

いつも人々の暮らしの中にある、セコムです。
ご家庭の安全を見守るホームセキュリティをはじめ、セコムは、医療・教育・情報通信…と、実にさまざまな分野を通して、暮らしに快適さをプラスするサービスを提供してきました。そしてこれからも、「セコムしてると安心ね。」みんなにそう思われるセコムであるよう、いろんなことにチャレンジしていきたいと思います。
セコム株式会社
東京都新宿区西新宿1-26-2　新宿野村ビル　TEL(03)3348-7511(代)
セコムホームページ・インフォマリーナ　http://www.secom.co.jp/

『インカレ教授』自白に集う

現場の空気、講義にもたらす

大学の講義形態の一つとして、客員教授や非常勤講師を招くものがある。こういった、週に数回、企業や他大学から学習院へとやって来て興味深い講義を行なう教授や講師を、総じてインターカレッジ教授、通称「インカレ教授」と名付け、いくつかの質問を行なってみた。



今後、インカレ教授の果たす役割はより一層強まる（本学での講義風景）

主なインカレ教授（敬称略）

〔法学部〕

竹下俊郎（46）

筑波大学助教授、明治大学助教授を経て、現在同大学教授。本学で「マスコミ理論」を担当するほか、東洋大学でも「メディア・コミュニケーション学概論」の講義を受け持つ。朝日新聞、日本経済新聞、AERA、エコノミストなどを講読する。最近気になったニュースは『今国会に政府が提出した『個人情報保護法案』のゆくえ』。「恵まれたロケーションにいるのですから、よその大学の講義も覗いてみたらいいでしょう。学校ごとの文化の違いもわかります」。東京都立大学、東京大学大学院出身。

成田憲彦（54）

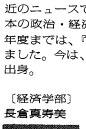
69年より国立国会図書館勤務、93年から内閣総理大臣秘書官を経て、95年より駿河台大学法学部教授。現在、同法学部部長。本学では「議会・政党研究」を担当。早稲田大学でも「立法過程論」の授業を行なう。気になったニュースとして「小泉内閣の発足」を挙げる。「何と言っても学生時代が人生で何の制約もなく、いろいろ本が読める時代です。幅広いジャンルにわたる乱読をお勧めします」。東京大学出身。

八木俊道（65）

官僚生活35年。宮沢、細川、羽田内閣などで官僚ポストを歴任し、村山内閣では総務庁事務次官に。95年6月退職後、日本大学法学部教授に着任する。現在は同政経研究所長を兼任。本学では「統治構造論（後期）」、「政治学科演習（現代の行政）」を担当。日本経済新聞、読売新聞、エコノミスト、週刊文春などを愛読。最近のニュースでは「改革断行派たる小泉新政権の登場と日本の政治・経済の構造改革の今後の道筋」に注目。「昨年度までは、『Cool head but Warm Hearts』と言っていました。今は、『細部に神宿る』と言いたい」。中央大学出身。

〔経済学部〕

長倉真寿美



日本ＩＢＭを経て大学院へ留学。その後92年から住友生命総合研究所勤務。現在、同主任研究員。本学で「経済学特殊講義（老人福祉論）」を受け持つほか、立教大学でも「情報科学１、２」を担当。愛読紙は日本経済新聞。最近気になったニュースは虐待で死亡する子供が増えていること。「死ぬことでしか楽になれないことに心が痛みます。高齢者の問題とともに、必要な助けが得られる社会にしていく必要があります」。「世間には多くの誤解や無理解が存在します。『老人福祉論』の講義では、高齢者問題を素材にし、自分で情報を収集し、考え、判断することを主眼にしています」。ワシントン大学社会福祉大学院出身。

福田優二（52）

72年より電通勤務。87年から00年の電通総研勤務を経て、現在電通21世紀計画室部長。本学で「経済学特殊講義（経済のグローバル化と価値観の変容）」を担当するほか、城西国際大学でも「広報戦略論」の講義を行っている。愛読紙は読売新聞、朝日新聞だが、他にもインターネットで、時事、共同、ＣＮＮをはじめ新聞各紙の情報をパソコンとｉモードを併用しアクセス。雑誌は、週刊、噂の真相、週刊新潮、週刊文春などを愛読。特に関心を持つニュースは「自民党総裁選とその関連動向」。「学習院は私学の中でもユニークなポジションを持ち、将来の日本にとって貴重な人材が育つ土壌がある。世界を視野に、日本を見つめ、自分の頭でしっかりと考える習慣を身につけて下さい」。東京外国語大学出身。

〔文学部〕

板倉聖哲（35）

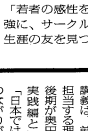
財団法人大和文華館学芸部部員を経て、現在東京大学東洋文化研究所助教授。本学で「東洋美術史」を受け持つほか、青山学院大学、九州大学でも講義を行っている。購読紙は朝日新聞。最近気になったニュースとして「李登輝前総統のビザ発給問題」を挙げる。「これまで中国絵画に接する機会が少なかった方が多いでしょうから、ちょっと親しみを込めて見るきっかけになればと思います」。東京大学出身。

斎藤慶典（44）

慶応義塾大学教授。本学で「哲学講義」を担当するほかに、慶応義塾大学で「現象学」「哲学研究会」「原点研究」などを受け持つ。これまでに東洋大学、東京大学、青山学院大学に出講している。慶応義塾大学大学院出身。

〔理学部〕

奥野英城（60）



東京大学原子核研究所助教授を経て、現在文部科学省高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所助教授。本学では「核および天体物理学２（素粒子・宇宙物理入門）」を担当。日本経済新聞、文芸春秋を愛読。最近気になったニュースは、「ゆとり教育の名のもとに小中学校の教科内容が大幅に削減されること」。「若者の感性を大切にし、将来をみすえてひたむきに勉強に、サークル活動に励んで欲しい。特に、大学生活で生涯の友を見つけて欲しい」。京都大学大学出身。

伝達される現場の経験

奥田講師

インタビューに答えてくれた奥田講師。ソニーでは、ブランドマネジメントに関するコーポレート・アイデンティティ（通称CI）を担当。ソニーでは、プレゼンテーション講義などを、対外的な活動を行なってきた。その中大学では、経営学科の「経営特殊講義（ブランドマネジメントの実際）」を担当している奥田飛功（ひとし）講師。ソニーでは、プレゼンテーション講義などを、対外的な活動を行なってきた。その中大学では、経営学科の「経営特殊講義（ブランドマネジメントの実際）」を担当している奥田飛功（ひとし）講師。ソニーでは、ブランドマネジメントに関するコーポレート・アイデンティティ（通称CI）を担当

スキルアップしてみましょ！

そろそろ新しい環境にも慣れてきて、つい中だるみしがちな今日この頃。ここらで心機一転、将来を見据えて資格にチャレンジしてみませんか？

持ってる資格ベスト5

学習院大生二〇人に、いま欲しい取得したものこと。持っている資格について聞いてみました。

持っている資格で最も多かったのは英検（実用英語技能検定）。取得している級から一級まで幅の四級から一級まで幅広くなっていました。その中で一番多いのが三級。七人。日本人だし漢字さえ三級を取得しています。そのうち、といった比較的簡単な大学に入って簡もなかなか、といった比較的簡単な大学に入って簡もなかなか、といった比較的簡単な大学に入って簡もなかなか、といった比較的簡単な大学に入って簡単な大学に入って簡単な大学に入って

GAKUSHUIN SPORTS. Gスポ G-spo

全国 スカッシュ部女子 準優勝

播木選手の活躍がチーム全体の原動力となった

本学スカッシュ部が、またしても快挙を成し遂げた。三月六日から十日にかけて、幕張テクノガーデンにて行われた全日本スカッシュ選手権大会団体戦。本学スカッシュ部は女子の部門において快進撃を繰り広げ、見事銀メダルを獲得した。

スカッシュ部では男子が昨年の新人戦優勝、団体戦二位と、ここまで素晴らしい成績を残してきた。そんな中、男子の活躍に隠れるが、今回はみせてくれた。三月六日から行われた全日本スカッシュ選手権大会団体戦。念願の女子初優勝とはならなかったが、見事に全国二位をつかみ取ったのだ。

女子の団体戦は、各大学五人のチームから三人を選出し試合を行う。本学は播磨、中川、明日香選手（はりき・政三）が、自信を持ってプレーができたと言うように、本学が2点先制。これに動揺した相手投手を攻め続け、4回までに6−0と、試合を完全に支配する。

しかし、5回表。疲れの見えた中崎投手が、連続を許し要所のピンチを迎えてしまう。マウンドに駆け寄るナイン。「打たせてアウトを取ろう。多少の失点は仕方ない!」。野手の明もしい後押しに奮起した中崎投手は、後続を2失点に抑え止める。すると直後の5回裏には、小林選手が捕手と

球威ある投球でチームを1部へ導いた中崎投手

W	0	0	0	0	2	2
G	3	1	1	1	3×	9

続、小林玲奈選手（法三）は、センターへの鮮やかなホームランを放つ。四番打者としての活躍を果たし、本学が2点先制。これに動揺した相手投手を攻め続け、4回までに6−0と、試合を完全に支配する。

しかし、5回表。疲れの見えた中崎投手が、連続を許し要所のピンチを迎えてしまう。マウンドに駆け寄るナイン。「打たせてアウトを取ろう。多少の失点は仕方ない!」。野手の明もしい後押しに奮起した中崎投手は、後続を2失点に抑え止める。すると直後の5回裏には、小林選手が捕手と

ソフト部女子 悲願の一部昇格！

球威ある投球でチームを1部へ導いた中崎投手

「とにかくうれしいの一言」。試合後の中林文絵主将（法四）は言葉少なに、だがしっかりと喜びをかみしめていた。

四月二十八日からの春季2部リーグ戦が始まった。桜美林大との初戦に大勝した本学は、続く創価大、明星大、中央大との試合でも二ケタ得点で圧勝。強敵日大、稲田大である。その早大に勝つために練習を重ねてきた本学が6−0で接戦を制した。「行くぞ!」。明星大学グラウンドに、ナインの掛け声が響き渡る。

立ち上がりに不安があるエースの中崎綾子投手（普三）。先頭打者に四球を与えるなど、序盤から制球が定まらない。しかし、速球で打者をねじ伏せる持ち前の投球を徐々に取り戻し、付け入る隙を与えない。

この奮闘に打線が応え、立ち上がりの不安があるエースの中崎綾子投手（普三）。先頭打者に四球を与えるなど、序盤から制球が定まらない。しかし、速球で打者をねじ伏せる持ち前の投球を徐々に取り戻し、付け入る隙を与えない。

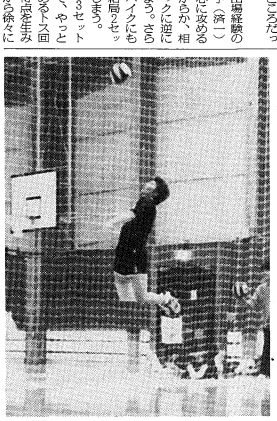
この奮闘に打線が応え、本学が2点先制。これに動揺した相手投手を攻め続け、4回までに6−0と、試合を完全に支配する。

しかし、5回表。疲れの見えた中崎投手が、連続を許し要所のピンチを迎えてしまう。マウンドに駆け寄るナイン。「打たせてアウトを取ろう。多少の失点は仕方ない!」。野手の明もしい後押しに奮起した中崎投手は、後続を2失点に抑え止める。すると直後の5回裏には、小林選手が捕手と

昇格へ再び奮起 バレー部男子

「帝京戦が事実上の決勝だった」と伊藤悠主将（法四）が言うように、ここまで全勝だった本学は、同じく全勝中の帝京になんとしても勝ちたいところだった。

本学は、国体出場経験のある半田志郎選手（法一）のスパイクを中心に攻めるが、鬼の気持ちからか、相手の強力なブロックに逆に相手の鋭いスパイクにも防御策が打てず結局2セットを先取されてしまう。もう後がない3セット目。この土壇場で、やっと本学の持ち味であるトス回しの手さばきが、得点を生み始める。20−15から徐々に



チームの得点源となった半田選手

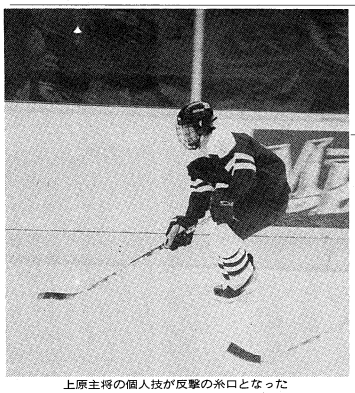
知恵選手（経三）のスパイクが決まり、一時4−1とリードを奪う。これで流れをつかんだかに思えた本学。ところが相手を簡単には引き下がらない。徐々に点差をつめられ、逆12−12に追いつかれてしまう。さらにその直庄からの、本学はレシーブミスを連発、そのまま逆転されてしまう場面が続いた。

（普三）の鋭いスパイクなどで必死に反撃を試みる本学。しかし結局このセットは18−25で逃し、トータルで2セットも奪われてしまった。

一位なら自動的に5部昇格という大一番に敗れてしまった本学。しかし残りの試合に勝ち、リーグ二位になれば、入れ替え戦への出場権が得られる。

早大との対戦で、本学は打撃に手応えを得た。「守備を強化したい」と、早くも1部での目標を掲げる中林主将。「1層の高みへ。ソフトボール部女子は、栄光への第一歩を踏み出した」。（普通課程三）

我慢で手にした勲章 アイスホッケー部



上原主将の個人技が反撃の糸口となった

最終ピリオド残り二分を切り、3−3の同点。延長戦に突入かと思えたその時、大沼裕介選手（普四）の放ったミドルシュートは、鋭くゴールに突き刺さった。このゴールが、本学をBグループ昇格早々の3位という快挙へ導いたのだった。

四月八日から行われた、第五十回関東大学アイスホッケー選手権大会。立教大を4−1、拓殖大を8−3と破り、見事ベスト4進出を決めた。準決勝で筑波大に2−3と僅敗したが、ここまで勝ち抜いてきた勝ち

上原主将の個人技が反撃の糸口となった

奪う。播木選手も鋭いショットを連発し圧勝。チームのまとまり感ともさて、3−0で日本女子体育大を下した。これで去年の三位を上回る二位以上を確定させる。

そして迎えた東洋英和女子大戦。勝ずつを取り合い、決着は三人目に持ち込まれる。本学は好調の播木選手が、力強い応援を背に持ち前の粘り強いスカッシュを披露する。以前の対戦

対日大	3−0	勝
対関西学院	3−0	勝
対慶応大	3−0	勝
対立命館大	3−0	勝
対福岡大	3−0	勝
対日本女子体育大	3−0	勝
対東洋英和女学院	1−2	負

まれる。本学は好調の播木選手が、力強い応援を背に持ち前の粘り強いスカッシュを披露する。以前の対戦では一ゲームも取れなかった西連続ポイントを奪うなど、1ゲームを9−6でなんとか先取する。

しかし、その後は相手が本領を発揮しはじめ、ポイントが取れずサーブ権の奪い合いが続く。播木選手も我慢のプレーで粘り抜くが、相手の強烈なショットにポイントだけでなく試合の流れも奪われていく。結局2ゲーム目を4−9で落とし、その後も流れを引き寄せることができず敗退。残念ながら女子の優勝とはならなかった。

今大会で自立つたのは播磨選手。本学は好調の播木選手から